

令和元年度 第2回障がい者計画・障がい福祉計画検討委員会 会議録

日 時：2019年（令和元年）7月22日（月）9：30～11：30

会 場：藤沢市役所本庁舎7階 7-1・7-2会議室

出席者：高山代表，澤野副代表，大澤委員，齊藤委員，種田委員，都築委員，
富澤委員，西村委員，林委員，伏見委員，山野上委員

計11名

事務局：片山福祉健康部長

福祉健康総務課（蓑原）

福祉事務所長兼生活援護課長（矢後）

地域包括ケアシステム推進室（玉井，三ツ井，糊澤）

子ども家庭課（大庭，安田）

障がい福祉課（池田，加藤，寒河江，鎌田，勝木，竹原）

ふじさわ基幹相談支援センターえぼめいく（吉田）

計15名

欠席者：向井委員

傍聴者：5名

●開会

・開会挨拶。（事務局：池田参事）

・事務局から資料（事前配布した資料1-1から資料3まで並びに当日配布資料「やまびこ」，「自分でつくる安心防災帳」及び前回会議議事録について説明。（事務局：勝木）

●議事

（1）『『きらり ふじさわ』中間見直し』モニタリング指標最終確認及び平成30年度実績について

・事務局から資料1-1から資料1-2の10ページまで説明。（事務局：鎌田）

【説明要点】

・資料1-2について

中間見直しにおいて新規事業として掲載されたもの及び変更が生じた事業（事業番号4，6，15，16，24，29，34，36，42，48，53，54）のモニタリング指標とその実績，実績内容の分析・評価・課題，次年度に向けた取り組みについて資料のとおり説明。

【質疑応答及び意見】

・意見（都築委員）

事業番号35について、自閉症の勉強会をぜひ今後も継続していただきたい。支援者及び本人のために障がい特性と本人への対応を学び正しい理解と適切な支援をすることは必須であると思っています。

・質問（伏見委員）

事業番号36について、発達障がいのある方のリートへの相談件数が多く数か月の待機がありその解決策としてリート以外での事業所で対応するとありますが、リートに人員や予算を充てる考えはありますか。

・回答（事務局：鎌田主任）

その考えもありますが、現在は発達障がいというキーワードがあると全てリートが対応している状況で、それをリート以外でも対応できるではないか内容をよく聞き取り割り振ることを課題としています。

・質問（伏見委員）

事業番号54について、「面談を行う中で手帳を取得していない、障がいであろう可能性が高い相談者も多く感じられる」と記載があるが、生活困窮者が相談する際に手帳の取得が必要なのか、もしくは手帳がある方が相談や解決が早いという意味なのか、どちらでしょうか。

・回答（事務局：三ツ井参事）

一般就労が困難な相談者から聞き取りをする中で何らかの障がいを感じた場面で、障がいがある可能性や手帳の取得についてご理解いただくことに時間をかけて対応し、障がいを前提とした就労に繋げる場面がある、ということです。

・質問（澤野副代表）

事業番号29について、課題欄に「障がい特性に合った環境の設定をすることが難しい」とあるものは障がいのある方が利用しにくい環境があるということに思うのですが、例えばどのような環境でしょうか。

・回答（事務局：鎌田主任）

実際に事業所へ聞き取りましたが、例えば、1つの空間で様々な活動が行われている中で、障がいのある利用者の方がその障がい特性により施設環境の変化に反応してしまう場合があります。この時、既存の施設利用者が少し不安になるようなことがあるとのことです。このような状況を受け、事業所としては、既存の利用者が障がいのある方と一緒に過ごすのは難しいということにならないよう、しっかり対応したいと強く仰っておりました。

・意見（齊藤委員）

個別の評価だけではなく、例えば、密接した関係性の事業を結び付け見えてくる各事業の抜け穴や、課題に対して先読みした準備をどのようにするかなど、全体的に検討する必要があると思います。

・回答（事務局：加藤補佐）

この指標の見出されていない部分や手薄な部分を見出し、どう考えられるのかが最も重要だと思いますので、引き続き関係担当部署で検討します。

・補足（齊藤委員）

この計画検討委員会で議題にするという取り組み方も検討していただければと思います。

・資料1－2について、引き続き説明

中間見直しにおいて新規事業として掲載されたもの及び変更が生じた事業（事業番号72, 73, 104, 124, 139, 146, 151, 168, 169, 171, 187）について、説明を省略しピックアップ。また事業番号23の調達目標額について、正しくは18,750,000円である旨資料の訂正のお知らせ。

【質疑応答及び意見】

・質問（西村委員）

事業番号151について、居住支援協議会の現在の進捗状況についてお知らせください。

・回答（事務局：糊澤主任）

現在は居住支援協議会の設置に向け、連携するための課題やお互い何を求めるのかなどを整理し連携しやすい関係づくりを各法人や不動産団体と進めております。今後は現場の事業所の方など幅広い分野の方に意見を伺いニーズ調査を今年度中に完了させ、来年度中に居住支援協議会を設立するよう考えており、進捗はこの計画検討委員会でもご報告したいと思います。

・質問（西村委員）

事業番号89について、太陽の家の整備の進捗状況をお知らせください。特に40代から60代の方は慣れ親しんだ施設で短期入所を試し、それから生活拠点の選択肢の拡大にも繋がると思いますので、そういった利用も含めていかがでしょうか。

・回答（事務局：加藤補佐）

昨年度に引き続き、現在の指定管理者である光友会と、利用者からの意見や希望について意見交換を重ねています。また今年度の夏に太陽の家の利用者向けアンケートを予定しています。今後は市内の社会福祉法人等にも意見を伺いながら、整備に向け具体的な検討を進めていきたいと思っています。西村委員が仰った、慣れ親しんだ施設で緊急時に一泊したりといったことは居室確保事業の視点でも重要と考えて

いますので、それを踏まえて考えていきます。

・意見（山野上委員）

太陽の家再整備について、アンケート調査の中で1つ気になっている点が、市が市全体の意見を総合的にまとめ再整備するのか、それとも光友会が太陽の家の利用者や光友会の意見をまとめ再整備するのか、どちらの視点から再整備するか、機能をどう見直すかの議論をするべきだと思います。

・回答（事務局：池田参事）

少なくとも市だけで判断せず、どのような機能が必要なのか等、1つでも多くの皆さんの意見を取り入れこれから先長く使える施設にしていきたいと思っています。

・意見（種田委員）

太陽の家について、体育館の利用者に細かいアンケートや意見交換の場の案内が無いこと、7月15日のしいの実学園運動会のため13日と14日に体育館が利用できなかったこと、その周知がなかったことなど、体育館がしいの実学園とふじの実学園の附属施設として考えられていることに腹立たしい気持ちです。藤沢市の障がい者がスポーツできる施設として再整備していただきたい、場合により指定管理者を別にしていただきたい。また、事業番号64にある湘南地区の障がい者卓球大会について、茅ヶ崎市と寒川町では大きな体育館を会場として開催されていますが、藤沢市では会場も駐車場も手狭な太陽の家体育館で開催している点、改善をお願いしたいと思います。

・回答（事務局：加藤補佐）

体育館の休館日の周知が十分でなかった点については受け止め、今後の周知を検討します。現在指定管理をふじの実、しいの実、体育館と一体的に管理運営しているそれぞれを重要な施設と認識していますが、この3つの事業を一体で運営するため、運動会や式典等のイベントについてそれぞれの施設を活用し開催する点をご理解いただきたいと思います。また再整備の検討については体育館を福祉サービス事業と障がい者スポーツの活動の場として運営の手法等別途考えていきたいと思っています。

・質問（富澤委員）

事業番号104について、「仕事相談会の人数等と、分析にある他の職種を希望して来所した方も」という記載、今後の福祉人材の確保に向けた次年度以降のイベントの詳細をお知らせください。

・回答（事務局：加藤補佐）

仕事相談会は当日台風による悪天候ということもあり、参加者は6名程度でした。市としてはこれは悪天候だけが理由ではないと考え、重く受け止め、今年度以降の

イベントの在り方や周知方法等、事業所の方からのアイデアもいただきながら企画を進めます。また各法人や事業所から、職員ではなくボランティアを募集したい旨の意見をいただくため、募集を市が広報するなど難しいところがありますがお役に立てる取り組みを考えております。

・意見（富澤委員）

事業番号187について、ヘルプマークとヘルプカードの現在の周知ポスターでは理解が難しい知的障がい者なども理解しやすい周知活動を検討していただきたい。

・回答（事務局：寒河江補佐）

ヘルプマーク及びカードの利用者の声を聴き、さらに使いやすくなるような形を考えたり、各市民センターや地域包括支援センターで渡す際に職員が丁寧な説明をしたり、配布の包括協定を締結しているイトーヨーカドーやヨークマートの勤務者に障がい理解の話をするなど、制度やマークを理解していただける方法を考えたいとおもいます。

・意見（種田委員）

ヘルプマークとヘルプカードの周知について、以前にも障がい福祉課の寒河江さんに各防災訓練で周知するのが重要ではという話をしましたので、その配布状況とその他の配布場所について検討していただきたい。

・回答（事務局：寒河江補佐）

今年度9月7日の藤沢市総合防災訓練で心のバリアフリー体験講習会を同時開催する予定で、そこでヘルプマークのチラシを配布し周知する予定です。

・意見（齊藤委員）

太陽の家の整備について、現在の事業の継続以外に藤沢市で不足している、例えば重度心身障がい者の入所施設や今後必要な発達障がい者支援センターなどの要素をどこまで入れられるか、入れられなかった要素をその後どう解決するかを含めた大きな視野を持った再整備が必要だと思います。

・回答（事務局：池田参事）

太陽の家の再整備の基本構想を作成するため、各団体や会議から意見を集約したり基本構想を作成する会議体を設けたりといったことは十分行い、藤沢市の障がい福祉全体の考え方、太陽の家の位置付け、役割を考え基本構想を作成したいと思っています。ただし限られた敷地面積ですべてを盛り込むことは難しいため、盛り込めなかったものをどうするかを基本構想に含め作成したいと思っています。

・意見（伏見委員）

事業番号139について、支援の実施が0名である点は事業契約している法人と

して我々も払拭したいと考えています。この0名というのは、短期入所で対応できた方をカウントしていますか。また居室確保事業について、実施する際に職員1人で対応していいのか、複数対応が必要な場合、その人手をどう確保するか、事業所と障がい福祉課とで改めて協議したいと思っています。

・回答（事務局：鎌田）

居室確保事業は最後のセーフティネットであるため、実績が0件であることは悪い考えを持たなくても問題はなく、事前に障がい者の周囲の支援者が対応できたと認識しています。また実施体制については契約上で話をしていますが、状況に応じた対応が必要となると思いますので、こちらも改めて協議したいと思っています。

・補足（事務局：加藤補佐）

居室確保事業は昨年度末に3法人と契約し始まりましたが、今年度は1法人新たに契約を締結しています。また安全・安心プランの相談件数や作成件数も増えております。この指標を維持しつつ、実施体制については対象者の希望について市が考え方をまとめつつ、協議したいと思っています。

（2）障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画における聞き取り調査について

・事務局から資料2について説明。（事務局：鎌田）

【質疑応答及び意見】

・質問（伏見委員）

サービス提供事業者の全事業所が対象になるということでしょうか。

・回答（事務局：鎌田主任）

サービスの類型や、団体を持つ事業所を中心に実施する想定をしています。

・質問（齊藤委員）

障がい児と障がい者のどちらもいる団体もあると思うが、障がい児に焦点を当てるやり方はありますか。

・回答（事務局：鎌田主任）

関係課とも相談し考えたいと思いますが、現在の案である程度聞き取れるかと考えております。次回に向けまた検討したいと思っています。

・補足（事務局：加藤補佐）

こちらの計画策定に関する聞き取り調査は、今までは改定する年度の前年度の時に聞き取り調査とアンケートを実施していましたが、次期計画の策定にあたり、聞き取り調査やアンケートの結果をより多く検討していただく時間をもちたく、今年度の後半に聞き取り調査を実施し、来年度早々にそれを検討する予定です。聞き取

り項目のところについては、大まかな言い方にはなっておりますが、項目の追加や削除など様々なご意見があるかと思うので、この場だけでなく、一定期間メールや窓口でご意見をいただければと思います。

(3) 藤沢市相談支援体制について

- ・事務局から資料3について説明。(事務局：鎌田)

【説明要点】

- ・6ページ。ワンストップ機能を持った相談窓口が必要とされており、それは身近で相談しやすい場所である必要がある。また、支援者側も人員の強化と連携の強化が必要である。
- ・7ページ。アンケートの結果、どのライフステージの方も相談支援が重要だという意見。また6ページと同様に身近で相談しやすい場所が求められている。
- ・10ページ。(仮称)障がい者地域相談支援センターを創設し、表のとおり相談支援体制を作りたい。
- ・12ページ。市内を4つのエリアに整理するが、利用制限はかからず、本人や家族が希望する事業所を利用できる。

【質疑応答】

- ・質問(種田委員)

新たに事業所を作るのか、それとも既存の事業所を拡大したりするのか、どちらでしょうか。

- ・回答(事務局：鎌田主任)

事業所は1つ増加します。更に、既存の事業所の委託も改めて選定する方向で考えています。

- ・事務局から、議事録の確認と意見を8月16日を締め切りとし、了承を得た。

(4) その他について

- ・チラシ「自分でつくる安心防災帳」及び「やまびこ」について齊藤委員及び西村委員からそれぞれ内容のお知らせ。

●閉会

- ・閉会挨拶。(事務局：池田参事)